

集団生活になじめるようになってほしい



Q 園に行くのを嫌がる

園に行くのを嫌がって、朝から泣いて困らせます。無理やり連れて行くことも多いのですが、園でも泣いているのではないかと、とても心配です。

A 少し長い目で見守りましょう

それはご心配ですね。子どもにとって、家庭はとても安心できる場所です。思いも通りますし、言葉で説明しなくても分かってくれる保護者の方がいます。でも、園生活はそうはいきません。もちろん先生は困っている子どもたちを助けてくれますが、基本的には園は集団生活のため、自分のことは自分でやらなくてはなりませんし、やりたいことを何らかの方法で伝えようとしなければ、周囲に思いは伝わりません。嬉しいとか嫌だという気持ちも、アクションを起こさなければ分かってもらえません。そんな園とご家庭とのギャップが、お子さんを不安にしているのかもしれない。

お子さんが園から帰ってきた時は、どのような様子でしょうか。もし楽しそうな様子でしたら、温かく受け止め、お子さんの楽しい話にのってあげるとともに、明日の園生活に期待がもてるように励ましてあげてください。あまり楽しそうでない様子だったとしても、なるべく明るく受け止めましょう。保護者の方がお子さんと一緒に暗くなってしまうと、いっそう園に行くのが嫌になってしまいます。もし、あまりお子さんの不安が強いようでしたら、親子で一緒に登園し、お子さんの気持ちが安定するまで見守るというのも一つの方法です。園の先生にお子さんの様子についてご相談しながら、お子さんが安定した状況で離れることができるよう、そして、園生活が楽しくなるようにしていきましょう。いずれにしても、お子さんが家庭生活から社会に出た大事な一歩です。温かく、長い目で見ていきましょう。

Q 人をたたいて困る

すぐにかっとなってお友達を叩くことが多いので、「〇ちゃんは叩くからいや！」と嫌がられてしまいます。どうしたらよいのでしょうか？

A 叩くにはきっとわけがあります

お子さんは、思い通りにならない時に“叩く”という行動で“気持ちを分かってほしい”と表しているのではないのでしょうか。

もちろん、わけもなく叩くのは好ましいことではありません。相手のお子さんも、どうして叩かれるのか理解できなければ、嫌な気持ちになるのも無理はありません。

お子さんが叩くという行動を起こした時、周囲の大人が同じようにかっとして怒るのではなく、冷静になってスキンシップをとりながら、「どうして叩きたくなったのか」という理由を聞いてあげてください。お子さんなりに何かわけがあるようでしたら、お子さんの気持ちを受け止めるとともに、叩くのではない気持ちの表し方（例えば、言葉で思いを伝えるなどの方法）を教えましょう。特に理由がなく友達を叩いてしまった時は、「お友達を叩いてはいけませんよ」「〇ちゃんも叩かれたらいやでしょ」など



と話し、やってはいけないことであることを教えましょう。

もし、衝動的な行動が抑えられないようでしたら、少し静かな場所で抱きしめてクールダウンしながら、「こんなことがいやだったんだね」「こうするとよかったね」と気持ちを受け止めながら、次の行動についてもゆったり伝えていくようにしてください。

お子さんは、今いろいろなことを学んでいる最中です。人との関わり方も学びの途中です。納得しないまま形だけ「ごめんなさい」と言わせることよりも、お子さんが謝れない時には代わりに保護者の方が謝り、その姿を見せることで、「大好きな親が謝っているのだからこれはいけないことだったんだ」と、徐々に気付かせていくことが大切です。そして、友達とどういう関わり方をするとよいのか、根気強く教えていきましょう。また、子ども同士から保護者同士のトラブルにならないよう、園の先生にもご相談しながら一緒によい方法を考えていきたいですね。なかなか改善されずご心配の場合は、近隣の子育て支援センターや保健福祉センター、市町の家庭児童相談室（係）などにご相談してみてもいいでしょうか。



Q 1番でないと気がすまない

1番が大好きで、誰かが1番に並ぶと許せなくて、泣いたり怒ったりします。普段から「1番でなくてもいいんだよ」と言っているのですが、分かってくれないので心配です。

A 小さな頑張りを褒めましょう

1番になるということは、大人にとっても子どもにとっても気持ちのよいことです。お子さんは、これまでの生活の中で1番になることを褒められるなどして、その心地よさを体験してきたのではないのでしょうか。

でも、今後の生活の中で、いつも1番になることはなかなか難しいことです。そして、1番でなくてもその子なりに頑張ろうとする姿勢が、実はとても尊いことだと考えます。それを今すぐにお子さんに理解させることは難しいかもしれません。まずは、1番でなかった時に、「残念だったね」「今度1番になろうね」「がっかりだった?」「頑張ったところを見ていたよ」など、お子さんの気持ちを受け止め、言語化してあげましょう。また、日常の中で、お子さんが自分から何かやろうとしたり、今までできなかったことが少しでもできるようになったら、たくさん褒めてあげましょう。さらに、人や物に対しての思いやりの姿が見られたり、1番でなくても我慢ができた時には、思い切り褒めてあげてください。1番でなくても認められるという経験や、頑張っていることを誰かが見ているという嬉しい体験を積むことで、少しずつ1番でなくてもいいということを理解していくと考えます。多様な褒め方ができたら素晴らしいですね。

一朝一夕にはいきませんが、じっくり取り組んでみてください。



Q 先生から離れない

園に行くと先生から離れず、何をする時も先生と一緒にないとやろうとしないので、お友達もいません。このままで大丈夫でしょうか？

A 先生を信頼している表れです

お子さんは、先生のことが大好きなのですね。先生から離れないという姿は、園生活への不安が原因かもしれません。同時に、先生を信頼し、「先生と一緒になら大丈夫」と思っている表れでもあると思います。先生と一緒にいること自体は悪いことではありませんが、もっとお友達と遊んでほしいという願いから、先生から離れないという姿がご心配になるというのはよく分かります。

子どもたちの中には、大好きな先生の近くで、先生のやることを見たり真似してやったりして一緒に体験しながら、次第に自分が気に入った遊びを見つけていくお子さんがいます。新しいことを一人で体験することは不安でも、先生と一緒になら安心してできるのです。また、先生の周りには必ず子どもたちが寄ってきますから、先生と遊ぶことを通して他のお友達と関わりをもつチャンスがたくさんあります。

これまでも、入園当初から不安感が強く、担任の近くで一緒に過ごしていたお子さんもいましたが、それが1年間続くことはありませんでした。園の環境や生活の流れ、友達の存在に慣れて心が安定してくると、子どもの視界が広がり、楽しそうだと感じた遊びに少しずつ関わるようになっていったのです。その時期はお子さんによって違いますが、まずはお子さんが園生活を楽しめるようにすることが大切です。楽しみながら徐々に友達にも目が向いていくよう、園の先生と連絡を取りながら、焦らないで温かくお子さんの成長を見守り小さな変化をたくさん褒めていきましょう。



Q 大声を出したり、走り回ったりする

急に大きな声を出したり、奇声を上げて走り回ったりします。園でも同じようにやっているということを知りました。お友達から嫌がられないか心配です。

A "落ち着かない" 思いを受け止めて

お子さんは日頃から、環境が変わったことを敏感に感じるお子さんなのではないでしょうか。

園内を走り回る原因の一つに、環境が変わって興奮状態になっているということが考えられます。新しく集団生活をするようになってお子さんの生活リズムが変わり、慣れない環境の中で落ち着かない不安な思いを奇声や走り回るという行動で表しているのかもしれません。

しかし、新しい環境に出会った時だけに限らず、ずっと興奮状態が続く場合や普段から視線が合いにくい場合、落ち着いて話をしたり聞いたりできないような場合は、お子さんの成長を支えるために、より丁寧な関わりが必要になると考えます。そのためには、年齢によっても対応は異なりますが、年齢が小さければ少し様子を見ながら、園の先生にご相談してみるとよいかもしれません。また、3歳児後半くらいでしたら、園の先生と話し合うとともに、近隣の子育て支援センターや保健福祉センター、市町にある家庭児童相談室（係）などにご相談してみてもいいでしょうか。ご心配だとは思いますが、保護者の方が一人で悩みを抱え込んでしまわず、お子さんを取り巻く大人たちが力を合わせ、よりよい方法を考えていくことが大切です。



Q 友達と遊べず、遠くから見ている

園に行くのは嫌がらないのですが、なかなか遊べないようです。同じ組の子達が遊んでいるのを遠くからじっと見ていると聞きました。どうしたらよいのでしょうか？

A その子らしい仲間入りの方法があります

お子さんは、今、遊びを探しているところなのではないでしょうか。大人がそうであるように、すぐに一緒に遊びだしたり、しばらく様子を見てから関わり始めたりなど、子ども一人一人にもその子らしい仲間入りの方法があります。

園にはいろいろなお子さんがいます。活発なお子さんもいれば、内気なお子さんもあります。おしゃべりが大好きなお子さんもいれば、静かに遊ぶお子さんもいます。どのお子さんもみんな個性をもっていますから、いろいろな姿があってよいと考えます。

ご相談のお子さんは、園に行くのは嫌ではないということですから、きっと何か楽しいことがあるのでしょう。今はお友達のやっていることを見ていること自体が楽しいのかもしれませんが。このような様子が入園当初でしたら、園の先生にご相談しながら少し長い目で見てもよいと思います。徐々にお子さんがやりたい遊びを見つけて、動き出せるようになるとうれいすね。

保護者の方のお気持ちとしては、園でどんな様子なのかご心配になって、帰宅後すぐに「今日は何して遊んだの？」「誰と遊んだの？」とお聞きになりたいとは思いますが、ゆったりとした雰囲気の中で（例えばお風呂に一緒に入りながら）聞いてみてはいかがでしょうか？そんな中で、楽しかったことを少しずつ教えてくれるかもしれません。また、日頃からご家庭で身近な大人が、お子さんの興味に合わせて一緒に遊び楽しさを共有していくことも一つの方法です。遊ぶことに興味をもつきっかけになるかもしれませんから、「早く友達と遊ばないといけない」と焦らないようにしましょう。

なお、5歳児半ば頃になっても遊びに入れず傍観しているようでしたら、園の先生にご相談ください。先生と課題を共有しながら、一緒に力を合わせてお子さんにとってよい方法を探してみることも大切です。なかなか改善されずご心配が続く場合は、近隣の子育て支援センターや保健福祉センター、市町の家庭児童相談室（係）などにご相談してみてもはいかがでしょうか。



Q おもちゃや用具を独り占めする

誰かおもちゃや道具で遊んでいると、それを黙って取ってしまったたり、「貸して」と言われても知らん顔したり、「だめ！」と言ったりしてしまいます。どうしたらよいのでしょうか。

A 遊びたい思いがいっぱいなのです

お子さんは、遊びたい思いがたくさんあるのでしょう。ただ、自分のものと人のものの区別や、独り占めしないほうが気持ちよく遊べるということがはっきり分かっておらず、まずは「遊びたい」「これを使いたい」という思いが先行しているのだと思います。自宅での遊びでは許されていたことが、園など他の子がいる場面では同じようにいかないということが、まだ認識できていないのでしょう。

誰かのものを無理やり取ってしまった時は、まず「○ちゃんも使いたかったんだね」「でも、△君も使っていたからなくなってしまうと悲しいよ」と伝え、保護者の方が代わりに△君に「急を取ってしまっ

てごめんね。○ちゃんも使いたくなかったみたいなの」と謝りましょう。その上で、お子さんに△君の気持ちを伝えたらどうでしょうか。お子さんが、保護者の話を聞いたり△君に謝る姿を見たりしたことで、“黙って人のものを取るのは悪いこと”と気付いて△君に謝ればすごいことですね。ぜひ褒めてあげてください。でも、もしお子さんが気付かなくても、ここで無理やり謝らせなくてもよいと思います。このような積み重ねをしていくことが、今後の願う姿につながるのだと考えますので、焦らなくて大丈夫です。

順番や代わりばんこの方法、無理やり取るのはいけないことだと教えることはとても大切です。それは、今後の社会生活でもずっと続く約束です。でも、感情的になって「あなたはいつもそうなんだから」という叱り方をしては、なぜいけないのか子どもには理解できません。否定されたという思いだけが残ります。今は社会生活を学んでいるところなので、根気強く対応しましょう。そして、誰かに貸したり譲ったりするような姿や、「貸して」と自分から言うような姿が見られたら、思い切り褒めてあげてください。やってよいことをした時の心地よさをたくさん味わわせていきたいですね。



Q 友達とけんかばかりする

毎日のように友達とけんかをして、時には相手のお子さんに怪我をさせてしまうこともあります。こんなにけんかばかりしていたら、お友達がいなくなってしまうか心配です。

A 興味があるからけんかになるのです

一般的にけんかはよくないと思われがちですが、幼児にとってけんかは必ずしも悪いことではありません。人に興味があるからこそ、ちょっかいを出したりトラブルになったりするのです。自分の思いを出せるようになってきたとともに、自分の周りに目が向いてきたという成長の証でもあります。でも、怪我をさせたり、「あの子は悪い子」と思われたりするのには、保護者としてとても辛いですね。

けんかをするのには、お子さんなりの理由があると思います。それをまずきちんと受け止めましょう。「こんなことが嫌だったんだね」「○ちゃんの気持ち、分かるよ」「でも、叩くのはどうかな。○ちゃんだって叩かれたら痛いよね。お友達だって叩かれたら痛いし嬉しくないよ」「困ったことがあったら、先生やお母さんにお話ししてね」と温かく抱きしめたり、落ち着いて話したりすることが大切です。「けんかばかりして!」と頭ごなしに叱るのは、効果的ではありません。しかし、けんかの原因がお子さんのわがままだと分かったら、そこはきちんと話して聞かせることも必要です。状況によって対応は違いますが、大好きな大人がお子さんに真剣に話すことで、気持ちはきっと伝わると思います。しかし、子どもが理解したことを行動に移せるまでには何ヶ月もかかることがあり、分かったからといってすぐにけんかをやめられるわけではありませんから、ここはじっくり関わり続けながら待ちましょう。また、衝動的に友達に手を出してけんかになることが多くてご心配のようでしたら、園の先生をはじめ、近隣の子育て支援センターや保健福祉センター、市町にある家庭児童相談室(係)などにご相談してみてもいかがでしょうか。

もし、相手のお子さんに怪我をさせてしまったら、間に園の先生に入っただき、親子で申し訳ないという気持ちを伝えましょう。誤解を生まないためにも、早目の対応が大切です。"